

津市都市デザイン委員会

- 1 開催日時 平成24年5月23日(水) 午後1時30分～午後3時30分
- 2 開催場所 津市本庁舎6階 第61会議室
- 3 内 容 「津市リサイクルセンターの建設」について
- 4 出席者 委員側：錦委員長、今井副委員長、坂井田委員、大野委員、
浅野委員、井上委員、岡田委員
附議者：兼平環境政策課施設担当副参事、今井施設担当副主幹、
世古技師
株式会社オオバ 金井部長、須賀課長、小柳課長
事務局：伊藤都市計画課長、落合景観・緑化推進担当主幹、
本多主事、落合主事補
- 5 傍聴者の数 1名

6 要 旨

「津市リサイクルセンターの建設」について

●施設デザインについて

- ・管理棟、工場棟、ビジターセンターが比較的近い位置に配置されているにも関わらず、その構造、屋根形状、色彩などのデザインに統一感がないため、一体化させたほうがよいのではないかと。
- ・もっと緑と調和し、緑に埋もれるような印象の色彩を検討されたい。
- ・ビジターセンターと管理棟のデザインについて、完成イメージでは、ビジターセンターの外壁に木材をたくさん使用することとなっているが、むしろ管理棟の建物に木材をふんだんに使うようなデザインとなるよう検討されたい。
- ・防災調整池の擁壁がコンクリートの打ちっぱなしだと違和感があるので、法面に植栽したり、石垣風にするなど、より自然との調和が図れるようなデザインを検討されたい。

●施設の利用方法について

- ・管理棟について、事務室が1階で実習室や展示室が2階になっているが、1階と2階の機能を入れ替えたほうがよいのではないかと。
- ・ビジターセンターに設置される学習施設と管理棟に設けられる実習室との機能が重複するようであれば、どちらかに集約するなど規模の変更を含めた施設の使い方を検討されたい。
- ・施設規模としては少し小さ目に設計しておいて、常ににぎわいが感じられる空間となるよう配慮されたい。特に管理棟は規模が大きすぎるので、事務室のスペースなどは工夫して規模を抑えられるよう配慮されたい。
- ・新エネルギーゾーンなどの付属施設を設置するより、この施設の目的であるリサイクルそのものを危険なく見せるという方向ですべて設計することで、よりコンセプトを明確にできるのではないかと。

●新エネルギーゾーンについて

- ・管理棟の展示ホールや実習室などの活用方法との兼ね合いや、屋外設備の風化の危険性を考慮して、施設や設備の必要性を検討されたい。
- ・新エネルギーゾーンについて、単に新エネルギー関連設備の寄せ集めではなく、新エネルギーを基にしてリサイクルの仕組みと関連させて学習できるシステムにできないか。

●敷地内の植生・植栽について

- ・敷地内の植栽は、いろんな種類の花を植えるのではなく、特定の花を植えるなど特徴的で建物のデザインと調和した植栽とし、訪れる市民を歓迎するようなものになるよう検討されたい。
- ・広葉樹林への再生を目指す場合、竹林をすべて伐採するような乱暴な方法ではなく、広葉樹の特性に配慮された方法で実施されたい。

●その他

- ・市民の来訪を期待するのであれば、市民用アクセス道路として自然区域に直接アクセスできるようにするなどして、ゴミ収集車の搬入路とは別に設けてはどうか。
- ・ビジターセンターを自然の中に配置し、市民が直接アクセスできるようにできれば、自然区域がより活かされるのではないか。
- ・事業区域内に予定されている自然区域において、当該区域に生息していると思われる希少種に配慮した整備計画とされたい。
- ・市民の来訪を期待する場合、よほど興味深い内容でないと人は来ない。実施設計を考えていくプロセスで、管理棟の2階の使い方もきっちり考えた上で、必要な規模や使い方に合った設備を検討されたい。
- ・自然区域の森の散歩道について、このような施設は管理上、よほど手入れしないと雑草がすぐに繁茂してくるので、あえて作らなくてもよいのではないか。